

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月5日

上場会社名 トーカロ株式会社
 コード番号 3433 URL <http://www.tocalo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月12日

上場取引所 東

(氏名) 町垣 和夫
 (氏名) 太田 義人

TEL (078)411-5561(代)

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
21年3月期第1四半期	6,288	—	1,096	—	1,114	—	669	—
20年3月期第1四半期	6,444	1.1	1,408	△21.5	1,419	△21.4	823	△18.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	43.05	—
20年3月期第1四半期	52.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
21年3月期第1四半期	26,358	17,364	65.9	1,120.34
20年3月期	26,383	17,198	65.2	1,103.21

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 17,364百万円 20年3月期 17,198百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	22.50	—	22.50	45.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	22.50	—	22.50	45.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(％表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期連結累計期間	11,830	—	1,996	—	1,980	—	1,168	—	75.23
通期	24,500	0.6	4,333	△7.5	4,300	△9.9	2,540	△10.5	163.73

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他 をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他 をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第1四半期	15,800,000株	20年3月期	15,800,000株
② 期末自己株式数	21年3月期第1四半期	300,668株	20年3月期	210,422株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第1四半期	15,554,048株	20年3月期第1四半期	15,799,422株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関連する事項につきましては、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報 をご覧ください。

(その他特記事項)

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン（信用力の低い個人向け住宅融資）問題に端を発した金融市場の混乱や原油・原材料価格の高騰により、好調であった企業業績にかげりがみられ、物価上昇に伴う個人消費の低迷が懸念される状況で推移しております。その中であって、当社の主要部門である半導体・液晶製造装置業界では、DRAM価格の低迷で国内外の半導体メーカーが設備投資を昨年に続き抑制していることから、需要が停滞しております。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高62億88百万円（前年同期比2.4%減）、経常利益11億14百万円（同21.5%減）、四半期純利益6億69百万円（同18.7%減）となりました。

溶射加工部門につきましては、電力・石油関連の大型工事案件の受注により産業機械分野の売上が増加し、半導体・液晶分野では液晶関連需要が回復しつつあるものの、半導体関連は依然として停滞し、その他の分野も伸び悩んでいることから、当部門の売上高は前年同期比1.8%減の52億72百万円となりました。また、その他の周辺加工部門の売上高は10億15百万円（前年同期比5.5%減）となり、TD処理加工やPTA処理加工の不調が目立ちました。

また、収益面につきましては、半導体関連を中心とした溶射加工の売上減少、平成20年度税制改正を契機とした有形固定資産の耐用年数見直しの影響（機械装置の減価償却期間の短縮）などにより、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに前年同期比で減益となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は263億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ24百万円減少いたしました。これは主に、耐用年数の見直しに伴う減価償却期間の短縮による有形固定資産の減少などで固定資産が3億21百万円減少した反面、流動資産が2億96百万円増加したことによるものであります。

一方、負債は89億94百万円と前連結会計年度末比1億90百万円減少いたしました。これは主に、退職給付引当金の減少などで固定負債が2億99百万円減少した反面、支払手形及び買掛金の増加などで流動負債が1億8百万円増加したことによるものであります。

また、純資産は173億64百万円と前連結会計年度末比1億65百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が3億18百万円増加した一方で、市場買付等により自己株式が1億66百万円増加したことによるものであります。この結果、当第1四半期連結会計期間末の1株当たり純資産は1,120円34銭（前連結会計年度末比17円13銭の増加）、自己資本比率は65.9%（前連結会計年度末比0.7パーセントポイントの上昇）となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

売上高に関しましては、当第1四半期連結累計期間は前年同期比で若干の減収となっておりますが、ほぼ当初の予想どおりに推移しております。しかしながら、利益につきましては、平成20年度税制改正を契機とした有形固定資産の耐用年数見直しの影響(機械装置の減価償却期間の短縮)により、平成20年5月13日に発表いたしました第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想を以下のとおり修正いたします。

(第2四半期連結累計期間)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	11,830	2,250	2,233	1,320	84 69
今回修正予想 (B)	11,830	1,996	1,980	1,168	75 23
増減額 (B-A)	—	△ 253	△ 253	△ 152	△ 9 46
増減率 (%)	—	△ 11.3	△ 11.4	△ 11.5	△ 11.2
(ご参考) 前期実績(19年9月中間期)	12,347	2,487	2,509	1,511	95 64

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	24,500	4,933	4,900	2,900	186 02
今回修正予想 (B)	24,500	4,333	4,300	2,540	163 73
増減額 (B-A)	—	△ 600	△ 600	△ 360	△ 22 29
増減率 (%)	—	△ 12.2	△ 12.2	△ 12.4	△ 12.0
(ご参考) 前期実績(20年3月期)	24,359	4,684	4,772	2,838	179 85

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

・棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

・法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(会計処理の変更)

・四半期財務諸表に関する会計基準等の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・リース取引に関する会計基準等の適用

「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号)を当第1四半期連結会計期間から早期に適用し、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理から通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理に変更しております。

また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとする定額法を採用しております。

なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

当第1四半期連結会計期間につきましては、これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

・有形固定資産の耐用年数の変更

当社及び連結子会社は、減価償却資産の耐用年数等に関する平成20年度税制改正を契機として、有形固定資産の経済的耐用年数を見直した結果、当第1四半期連結会計期間より機械装置の耐用年数を変更しております。

これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ115,736千円減少しております。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,384,014	2,539,888
受取手形及び売掛金	8,197,121	7,585,361
仕掛品	463,816	584,163
原材料及び貯蔵品	981,802	899,877
その他	301,860	423,156
貸倒引当金	△7,990	△8,490
流動資産合計	12,320,625	12,023,956
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,893,250	4,994,239
機械装置及び運搬具（純額）	4,016,153	4,215,956
土地	2,978,283	2,978,283
その他（純額）	403,288	324,555
有形固定資産合計	12,290,975	12,513,034
無形固定資産		
のれん	122,783	147,339
その他	394,050	402,948
無形固定資産合計	516,833	550,288
投資その他の資産	1,230,338	1,296,481
固定資産合計	14,038,148	14,359,804
資産合計	26,358,774	26,383,761
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,945,436	2,701,496
短期借入金	700,000	800,000
1年内返済予定の長期借入金	426,400	426,400
未払法人税等	273,151	557,350
賞与引当金	292,213	569,820
その他	2,591,716	2,065,556
流動負債合計	7,228,918	7,120,623
固定負債		
長期借入金	802,000	908,600
退職給付引当金	727,006	918,160
その他	236,354	237,764
固定負債合計	1,765,361	2,064,524
負債合計	8,994,279	9,185,148

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,658,823	2,658,823
資本剰余金	2,293,504	2,293,504
利益剰余金	12,899,450	12,580,536
自己株式	△531,922	△364,967
株主資本合計	17,319,855	17,167,896
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	44,638	30,716
評価・換算差額等合計	44,638	30,716
純資産合計	17,364,494	17,198,612
負債純資産合計	26,358,774	26,383,761

(2) 四半期連結損益計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年6月30日)

売上高	6,288,443
売上原価	4,243,286
売上総利益	2,045,157
販売費及び一般管理費	
荷造運搬費	66,917
役員報酬	55,368
人件費	311,599
賞与引当金繰入額	92,255
退職給付引当金繰入額	9,447
旅費交通費及び通信費	66,905
減価償却費	14,519
のれん償却額	24,556
研究開発費	152,841
その他	154,650
販売費及び一般管理費合計	949,062
営業利益	1,096,094
営業外収益	
受取利息及び配当金	1,175
受取ロイヤリティー	7,946
受取技術料	6,000
スクラップ売却益	7,044
その他	4,780
営業外収益合計	26,946
営業外費用	
支払利息	6,292
支払手数料	1,747
その他	749
営業外費用合計	8,788
経常利益	1,114,252
特別利益	
貸倒引当金戻入額	500
特別利益合計	500
特別損失	
固定資産除売却損	1,463
特別損失合計	1,463
税金等調整前四半期純利益	1,113,289
法人税、住民税及び事業税	245,414
法人税等調整額	198,195
法人税等合計	443,610
四半期純利益	669,678

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,113,289
減価償却費	531,651
のれん償却額	24,556
賞与引当金の増減額(△は減少)	△277,606
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△191,154
受取利息及び受取配当金	△1,175
支払利息	6,292
固定資産除売却損益(△は益)	1,463
売上債権の増減額(△は増加)	△611,760
たな卸資産の増減額(△は増加)	38,421
仕入債務の増減額(△は減少)	243,940
未払費用の増減額(△は減少)	547,860
その他	55,023
小計	1,480,801
利息及び配当金の受取額	1,172
利息の支払額	△8,680
法人税等の支払額	△524,391
営業活動によるキャッシュ・フロー	948,901
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△421,727
無形固定資産の取得による支出	△3,597
投資有価証券の取得による支出	△871
その他	△192
投資活動によるキャッシュ・フロー	△426,389
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△100,000
長期借入金の返済による支出	△106,600
配当金の支払額	△302,815
自己株式の取得による支出	△166,954
その他	△2,251
財務活動によるキャッシュ・フロー	△678,621
現金及び現金同等物に係る換算差額	235
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△155,873
現金及び現金同等物の期首残高	2,539,888
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,384,014

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結会計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結会計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

該当事項はありません。

参考資料

前四半期に係る財務諸表等

(要約)四半期連結損益計算書

科 目	前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)	
	金額(千円)	百分比 (%)
I 売上高	6,444,776	100.0
II 売上原価	4,096,267	63.6
売上総利益	2,348,509	36.4
III 販売費及び一般管理費	940,131	14.5
営業利益	1,408,378	21.9
IV 営業外収益	17,539	0.2
V 営業外費用	6,324	0.1
経常利益	1,419,593	22.0
VI 特別利益	—	—
VII 特別損失	8,206	0.1
税金等調整前四半期純利益	1,411,387	21.9
税金費用	587,954	9.1
四半期純利益	823,433	12.8

(要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,411,387
減価償却費	393,770
のれん償却額	24,556
賞与引当金の増減額(△は減少)	△ 274,401
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△ 189,171
役員退職引当金の増減額(△は減少)	182
受取利息及び配当金	△ 1,225
支払利息	3,494
固定資産除却損	8,206
売上債権の増減額(△は増加)	△ 111,674
たな卸資産の増減額(△は増加)	39,730
仕入債務の増減額(△は減少)	△ 170,078
未払費用の増減額(△は減少)	562,971
その他	48,764
小計	1,746,512
利息及び配当金の受取額	1,219
利息の支払額	△ 1,684
法人税等の支払額	△ 1,732,678
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,369
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 939,485
無形固定資産の取得による支出	△ 1,485
投資有価証券の取得による支出	△ 7,041
その他	△ 27,893
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 975,906
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	700,000
長期借入金の返済による支出	△ 14,600
親会社による配当金の支払額	△ 315,495
その他	△ 1,582
財務活動によるキャッシュ・フロー	368,322
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	249
V 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 593,965
VI 現金及び現金同等物の期首残高	3,182,034
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	2,588,069

6. 生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

部 門	前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	比較増減	
	生産高(千円)	生産高(千円)	金額(千円)	増減率 (%)
溶射加工	5,370,008	5,272,603	△ 97,404	△ 1.8
半導体・液晶製造用部品 への加工	1,858,516	1,723,967	△ 134,549	△ 7.2
産業機械用部品への加工	1,141,582	1,365,576	223,993	+ 19.6
鉄鋼用設備部品への加工	900,802	816,553	△ 84,248	△ 9.4
その他	1,469,106	1,366,507	△ 102,599	△ 7.0
T D処理加工	285,811	241,159	△ 44,651	△ 15.6
Z A C コーティング加工	187,618	164,925	△ 22,692	△ 12.1
P T A処理加工	143,011	123,599	△ 19,412	△ 13.6
P V D処理加工	458,326	486,155	27,828	+ 6.1
合 計	6,444,776	6,288,443	△ 156,333	△ 2.4

(注) 上記の金額は、販売価格(税抜き)によっております。

(2) 受注状況

(受注高)

部 門	前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	比較増減	
	受注高(千円)	受注高(千円)	金額(千円)	増減率 (%)
溶射加工	5,266,113	5,047,948	△ 218,165	△ 4.1
半導体・液晶製造用部品 への加工	1,726,174	1,641,724	△ 84,449	△ 4.9
産業機械用部品への加工	1,226,588	1,230,032	3,444	+ 0.3
鉄鋼用設備部品への加工	969,835	932,488	△ 37,346	△ 3.9
その他	1,343,516	1,243,702	△ 99,813	△ 7.4
T D処理加工	278,751	240,226	△ 38,524	△ 13.8
Z A C コーティング加工	205,557	182,469	△ 23,088	△ 11.2
P T A処理加工	160,221	128,240	△ 31,981	△ 20.0
P V D処理加工	455,749	492,965	37,216	+ 8.2
合 計	6,366,393	6,091,850	△ 274,543	△ 4.3

(注) 上記の金額は、販売価格(税抜き)によっております。

(受注残高)

部 門	前第1四半期 連結会計期間末 (平成19年6月30日)	当第1四半期 連結会計期間末 (平成20年6月30日)	比較増減	
	受注残高(千円)	受注残高(千円)	金額(千円)	増減率 (%)
溶射加工	1,696,619	1,635,263	△ 61,356	△ 3.6
半導体・液晶製造用部品 への加工	548,045	494,597	△ 53,448	△ 9.8
産業機械用部品への加工	291,866	242,197	△ 49,668	△ 17.0
鉄鋼用設備部品への加工	487,868	521,119	33,250	+ 6.8
その他	368,839	377,349	8,510	+ 2.3
T D処理加工	25,035	30,439	5,404	+ 21.6
Z A C コーティング加工	97,010	76,989	△ 20,020	△ 20.6
P T A処理加工	153,398	81,511	△ 71,887	△ 46.9
P V D処理加工	19,884	24,275	4,390	+ 22.1
合 計	1,991,949	1,848,479	△ 143,469	△ 7.2

(注) 上記の金額は、販売価格(税抜き)によっております。

(3) 販売実績

部 門	前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	比較増減	
	販売高(千円)	販売高(千円)	金額(千円)	増減率 (%)
溶射加工	5,370,008	5,272,603	△ 97,404	△ 1.8
半導体・液晶製造用部品 への加工	1,858,516	1,723,967	△ 134,549	△ 7.2
産業機械用部品への加工	1,141,582	1,365,576	223,993	+ 19.6
鉄鋼用設備部品への加工	900,802	816,553	△ 84,248	△ 9.4
その他	1,469,106	1,366,507	△ 102,599	△ 7.0
T D処理加工	285,811	241,159	△ 44,651	△ 15.6
Z A C コーティング加工	187,618	164,925	△ 22,692	△ 12.1
P T A処理加工	143,011	123,599	△ 19,412	△ 13.6
P V D処理加工	458,326	486,155	27,828	+ 6.1
合 計	6,444,776	6,288,443	△ 156,333	△ 2.4

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。